

パイン



倶楽部

PINE CLUB

三田市国際交流協会
SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION (SIA)
〒669-1528 三田市駅前町2番1号
三田駅前一番館(キッピーモール)6階
三田市まちづくり協働センター内
TEL 079-559-5164 FAX 079-559-5173
KIPPYMALL 6F, 2-1 EKIMAECHO SANDA
HYOGO 669-1528 JAPAN
http://www.sia-japan.org/
E-mail: office@sia-japan.org

第36号 Vol.36 平成21年1月(2009.1)

パイン倶楽部の名前は、三田市木の赤松(レッド・パイン・ツリー)に由来します。

小学校英語 必修化へ 狭間小学校 ~ 拠点校の挑戦

2002年から始まった「総合的な学習の時間」で、市内のほとんどの小学校で国際理解教育の一環としての英語活動が行われるようになった。中でも狭間小学校は、地域在住のALT (Assistant Language Teacher, 外国語指導助手)の協力を得て、当初から積極的に英語活動を行ってきた学校の一つ。拠点校となった昨年度からは1,2年生10時間、2,3年生20時間、5,6年生35時間という授業時数で、年間の学習スケジュールを学年ごとに設定し、毎回独自の詳細な指導案に基づいて系統的な英語活動を行っている。現在、地域の日本人の指導助手と二人の外国人ALTが、学級担任と共に指導にあたっている。

授業が行われるのは、世界の国旗や英語ポスターなどでディスプレイされた専用の英語教室だ。この日は2年生の授業で、講師はインドネシア出身のソフィア・上田さん。子どもたちの英語での挨拶は慣れたもので、「Good Morning, Ms.Sophy!」と元気が良い。アルファベットや色をALTの後について大きな声で繰り返していく。インドネシアの写真や赤い民族衣装などを見て異文化に触れる体験は、外国人ALTならではのもの。



▲絵カードがいっぱいの英語専用教室 Hello Room

低学年の子どもたちの興味を最も引いていたのは、色を主題にした大型絵本の読み聞かせだった。講師のまわりに集まって座り、熱心に見入る。授業の最後には振り返りカードで子どもたちの反応を確かめ、次回の授業へつなげていく。

何よりも、楽しそうな子どもたちの様子を見ると、外国語でも抵抗なく取り込める低学年から段階を踏んで徐々に導入することは、高学年での学習の素地となり、効果が高そうだ。高学年の授業では、文法的には

中学生レベルの内容だが、文法や知識として教えるのではなく、ゲーム的な活動の中から体験的に英単語や表現を取り入れていく。文科省の基準に従い、「聞く・話す」主体の活動で、これまでのカリキュラムには、英語での買い物や、自分の夢や好きなことを伝える自己紹介活動などがあり、楽しそうな内容だ。

拠点校として、年に一度市内外の小中学校の教諭を招いて公開授業と研究会が行われる。一市民としては、拠点校の取り組みが市内の各小学校へ広がり、地域格差のない英語教育が受けられるようになることを願う。蓄積された拠点校のノウハウが他校でも上手に生かされ、なおかつ中学校英語との連携がうまくいけば、中高での英語力アップの効果も期待できるのではないかと感じた。

拠点校として、年に一度市内外の小中学校の教諭を招いて公開授業と研究会が行われる。一市民としては、拠点校の取り組みが市内の各小学校へ広がり、地域格差のない英語教育が受けられるようになることを願う。蓄積された拠点校のノウハウが他校でも上手に生かされ、なおかつ中学校英語との連携がうまくいけば、中高での英語力アップの効果も期待できるのではないかと感じた。



▲大型絵本に見入る子どもたち (Sanae)

Welcome to KODAN



▲九鬼の殿様になりきった南陽さん

昨年9月14日(日)、国際交流DAYのイベントとして、英語講義が行われた。演じるは大坂生まれの若手講師、旭堂南陽さん。どうなんよ(う)さん。会場の三田市まちづくり協働センター多目的ホールには、外国人を含む老若男女約100名が集まった。

三田に関する関係資料を集めて読み、九鬼家ゆかりの心月院を訪ね、また郷土史家から三田の歴史について話を聴く等、熱心に準備をしていた南陽さん。新作「九鬼秘伝 海をもとめて」を携え、三田初お目見えの舞台へ。待ちに待った開演。まずは、「講義の楽しみ方」をユーモアたっぷりに、ひとくさり。そして、九鬼の殿さまや川本幸民に扮して、まるで見てきたように、歴史の一幕を英語と日本語で生き生きと語り、締めには古典講義「竹の水仙」を熟演した。語りの大衆芸能「講談」の世界に魅了され、客席は静まり返ったかと思ふと、どつと笑い声や大拍手に包まれた。アンケートでも「楽しかった」「英語の創作講義は思ったより分かりやすい」「独特のリズムが面白かった」と評判は上々。

皆さんのご要望に応え、来る2月15日(日)、南陽さんが再来市。ブルガリア出身の大坂大学大学院生ニコラエフ・ペタル・イヴァノフ氏とトークをした後、昨秋ブルガリアのソフィア大学で公演した講義を披露するかも。詳細は4面をご覧ください。(Toshiko)

ALT のことば

三田に住んで3年。地域に溶け込めたらと始めたボランティアですが、私の方が子どもたちから学ぶことが多くて、子どもたちと楽しい時間を過ごしています。このような機会を与えられて感謝しています。

(Sophia Ueda)

教材は

文部科学省が必修化に向けて作成した教材『英語ノート』(試作版)では、計285の単語と中学1年レベルの50の表現が含まれる。5,6年ともにレッスンを9ずつに分けて「聞く・話す」を中心に授業を進め、読み書きは入っていない。今年度中に全小学校に配布される予定で、教材の一つとして活用される。これまで「国際理解」との位置づけであった小学校英語が「学習」の色合いを強めたように見える。ただし現時点では教科として成績評価はされない模様だ。

三田市の英語教育

三田市教育委員会では、将来の必修化をにらんで、数年前から小学校の英語活動に積極的に取り組んできた。そして平成21年度より、新学習指導要領への移行期間に入ることに伴い、市内全小学校で英語活動を一層充実させていく予定。「英語が話せる三田市民に」をスローガンに、義務教育9年間を見通した英語教育を実施するという目標を持って、拠点校での取り組みを参考に学習カリキュラムの検討や教材の選定を行っている。課題は、今後市内各小学校に十分なALTを確保できるかということだが、教育委員会では、ALTとして活動できる英語圏出身の外国人や英語に堪能な地域人材を求めている。興味のある方は、学校教育課(559-5138)までご連絡を。

アイズは今年も 本気宣言!!

1/17(土)・1/24(土)
午後3時~ ※各教室にて実施

※お電話にてご予約ください
※個別指導アイズ・東進には入塾テストはありません。

約束します!

アイズのマニフェスト〈公約〉

- 楽しいだけが塾じゃない。厳しいだけでも塾じゃない…。苦しい時でも励ましあって笑顔で乗り切ってしまう。そんな風土がアイズにあります。
- 私たちアイズの心がける教育は、「可能性を発見させる指導」、「できない」と思っていた生徒に、「ちゃんとやればできる」と気づかせること、「勉強は決してつらくない」と感じさせる、そんな温かい教育です。
- 小学生の時、入塾テストぎりぎりの点数で入塾した生徒が、コツコツと基礎力を培い、しっかりと実力を磨き、最後に実戦力を身につけて、その結果、難関校といわれる数々の学校へ見事合格することだって、アイズでは決してめずらしいことではありません。
- アイズの先生と生徒たちは、いつも「ドラマ」があります。笑いと涙と、愛と感謝に満ち溢れています。だから、居残り特訓や休日補習に耐え切れずに、アイズをやめてしまった生徒も、時を経て、またいつしかこのアイズへ舞い戻ってきてくれます。
- 楽しいだけが塾じゃない、厳しいだけでも塾じゃない…。塾に通う目的は、「やる気を育み、しっかりと学力を伸ばし、行きたい学校へ進学すること」。だからこそ、「時には厳しく時には優しく」をモットーに、一人でも多くの生徒の志望校合格にこだわり続けます。

ゆたかな心を育てる

アイズ

学研グループ
進学塾
(開成教育セミナー改め)

079-564-5555

総合受付
受付時間 午前9時~午後7時
(月・日祝を除く)

携帯にバーコードリーダー機能がついている方は、右のQRコードを読み取ると簡単にアクセスできます。

http://www.hotline.gr.jp/ カチッ

トップ高ナンバー1 検索

13200706(01)

考える ~その2~ 立場から-

前号では、多文化共生への取り組みについて行政サイド(県、市)よりお話を伺い、また、当協会としての方向性も掲載しました。今号では、三田在住の外国人にご参加いただき、日本と自国との違いや生活する上での問題などを伺いました。和気あいあいとした座談会の中にも、抱えている問題や考えさせられることがたくさんあることがわかりました。



日本に来る前の印象

寺元：本日はお忙しい中、座談会にご出席いただきありがとうございます。日本では、三田で生活される中で日ごろ思うことについて伺いたいと思います。

新垣：来日前の日本のイメージはどうでしたか？

富保：中国のテレビで紹介された映像では、日本の家は二階建てでずいぶん大きく広いように感じました。そして日本人はシャワーを朝と夜に使い、非常に衛生的な生活をしているという印象でした。地図で日本を見ると、海や海岸ばかりだと思っていました。しかし三田に来ると畑がいつぱいで山もあり、海は見えないのでびっくりしました。

日本に来てからの印象

だったから。ソニーとかパナソニックが有名で、テクノロジ(技術力)が高くて賢い人が多いというイメージがありました。その頃人気があった国は日本、アメリカ、そしてロシアでした。私が大学に入った頃から日本に出稼ぎに行くことができたから、22、23歳の怖い物知らずで好奇心いっぱいなのは、ぜひ行ってみたいと思いました。

新垣：私の住んでいた中国・武漢と比べると非常に空気がきれいですね。

寺元：スーパーではポジョ(鶏)の肉は頭と足を取って羽をむしったのがそのまま売られています。日本では既にさばかれたのが小さなパック入りで売られていたのに戸惑いました。ジャガイモもペルーではkg単位です。和式トイレも最初どうやって使ったらいいか戸惑いました。挨拶も多いですね。「おはようございます」とか「いただきます」とか。でも慣れれば良い習慣だと思えます。南米の人は陽気によくしゃべるので、「静かにしてちょうだい」と言われました。日本に住み始めた後、私が変わらなければと思いましたが、日本人は心の中を話さないですね。「はい」と「いいえ」の間の答えがあります。

食文化、習慣など

かつたけど、久しぶりに帰るとちよつと危ないと感じます。娘がスポーツクラブに帽子を忘れてきたけど、電話をしたら「ありますよ」という返事がすぐにきました。

寺元：このまえスペインに旅行に行ったとき、荷物を床に置いたいたら「危ないからダメ」とお母さんに怒られました。

富保：中国では鶏以外のトリもいろいろ食べます。神戸の中華街では食用の鳩を売っていましたよ。

梁：日本でも昔は鳩とか雀を食べていたよ。

富保：中国では生ものは食べません。日本のお味噌はぐちゃぐちゃして気持ち悪いと思います。

梁：梅干しは、日本と違って甘いよ。

富保：中国の梅干しは、日本と違って甘いよ。

寺元：もういないのに、なぜ好きだった食べ物かを飾るのかな。

新垣：ペルーでも田舎では飾るよ。

富保：富保さんは、ご主人のお母さんも同居しておられますが、中国では、多世代同居は多いのでしょうか。

寺元：中国では結婚すると別の家庭を持ちます。親と同居する習慣はありません。日本にきて驚きましたが、子育てなどいろいろ教えてもらえらるし、いい習慣だと思います。

新垣：日本は安全ですね。ペルーに住んでいる頃には思わな



(左)新垣さん (右)寺元さん

ゴミの分別収集

富保：三田のゴミの分別方法は誰に教えてもらいましたか。

寺元：主人のお母さんです。中国では、市場で食材だけを直接買うので不要な包装材料はもらいません。鶏はその場で潰してもらいます。全て使うので、ゴミはあまり出ません。紙類は再利用するし、生ゴミは畑の土に埋めます。

新垣：ペルーでは、大きなトラックが集めて来て、分別は全く何でもOKでした。

日本での子育て

寺元：子育てをしていく上で困ったことはありませんか。

新垣：子どもを産むと市役所にいろいろな書類を提出するけど、よく分からないのでスペイン語の説明書が欲しい。いろいろな言語での説明書やフォーマットがあればいいと思います。子どもが病気の時、各国の言葉でどこに行けばいいかが書いてあったら便利だし、注射の間診票なんかも各国の言葉の用紙が欲しいな。

富保：中国では結婚すると別の家庭を持ちます。親と同居する習慣はありません。日本にきて驚きましたが、子育てなどいろいろ教えてもらえらるし、いい習慣だと思います。

YMCA 三田 Y M C A
~子どもと若者のいのちが光り輝くように~

- サッカー
- 野外活動
- キャンプ
- 英会話
- ボランティア

YMCAでは幼児年代から様々な活動を行っています。その中で、子ども達が“こころ”と“からだ”を育み、全人的に成長することを大切にしています。また多くのユースボランティアが、子ども達一人一人に寄り添い、育ちをサポートします。YMCAの活動に、ぜひご参加ください！

ゴスペルワークショップ開催中！月に一度日曜日の午後にごospelライブ&ワークショップを行っています。初めての方でも大丈夫！本物のゴスペルを感じ、共に歌うことで日常から開放されます！ぜひご参加ください！

お問い合わせは・・・(財)神戸YMCA三田センター<三田YMCA>
079-559-0075 www.kobeymca.or.jp/sanda

All Sanda ECC Junior Speech Contest 2/14

無料体験レッスン受付中

お問い合わせは
0120-415-144
ECC ジュニア兵庫センター

<4月生募集中> **ECCジュニア**



国際交流 DAY (世界の踊り)



台湾・清水高校オーケストラ来訪



米キティタス郡少年野球チーム来訪



豪ブルーマウンテンズ市環境大使と市内ALT・留学生 巻き寿司作り体験

写真で見る協会イベント



日本語サロンさんだ



Friendship Day in SANDA 「世界のことば体験」



川村栄太郎さん 国際理解講演会「ブラジルに魅せられて」



三田国際マスタースマソン 姉妹都市招待選手歓迎交流会

世界あこれミニトーク



4月 **ブレッド・サン普森さん** Australia, in English



5月 **大中はつ彗さん** 祖国・中国「残留日本人孤児」はいま



6月 **孫景浩さん** アンニョンハセヨ



10月 **長谷川タナオさん** 小粋なベトナムのお話



12月 **ジーナ・ブランプトンさん** Australia and New Zealand Christmas Talk, in English

語学講座



入門中国語講座



日本語ボランティア養成講座



キッズ英語講座



名画で学ぶ使える英文法

ひとこと English ring a bell

Does this ring a bell? 何か思い当たる?



何かがかっかけてひらめいたり、思い出したときに使う慣用表現。ベルがなるのは何かの合図です。合図となるのは、人の名前や写真、あるいはことばなど。Her face rang a bell with me. (彼女の顔に心当たりがあった) という表現も。(Sanae)

豆ハンゲル 팔방미인 八方美人

日本語では、「八方美人」は「誰にでもいい顔をする人」という意味で使われることが多く、あまりいい意味では使われません。韓国では「팔방미인」は、「美しく才能豊かな人」の意味で使われることが多いです。韓国で人を褒めるときに使ってみましょう。(Yasuyo)

QUIZ 2月15日の国際理解講演会でブルガリアの話をする講談師は誰でしょう?

- 応募方法** クイズの答えと本紙に関する感想、取りあげてほしい記事を、ハガキまたはEメールにて事務局までお送り下さい。正解者の中から抽選で5名様に図書カード1,000円分を差し上げます。
- 締め切り** 1月31日必着
- 前回の答え** resolution
- 当選者** 笹井 誠 足立 久 佐藤 来 (敬称略)
磯部以奈子 大森明美

読者の声

- 協会の会員になり、日本語ボランティアで教えることに興味を持ちました。自分が役に立てれば嬉しく思います。
- 「楽しい日常英会話」のコーナーは家族で実践できるようなものが多く、とても面白いです。
- 協会から案内が来るたびに、何か私にも参加できることはないかとワクワクしながら拝見させていただいております。

INFORMATION

詳しくは事務局まで TEL:559-5164
<http://www.sia-japan.org/>

Events & Activities

- 入門ハンゲル講座 (受付終了)
1月10日～3月14日 (毎週土曜) 10:30～12:00 Basic Korean course
- ブルーマウンテンズ市派遣高校生応募締切
1月30日 (金)
Application deadline for the high school students' short stay in Blue Mountains City, Australia

- 通訳ボランティア講座
2月7日～3月7日 (毎週土曜) 14:00～15:30
Training course for English voluntary interpreter to support foreign residents
- 国際理解講演会
「来て見た日本・行って語ったブルガリア」
2月15日(日)13:30～15:30 ※講演後・交流会あり(要予約)
International Understanding Seminar:
Talk on Bulgaria by Mr. Petal, Bulgarian and Kyokudou Nanyou, Japanese storyteller
- 世界あこれミニトーク
3月
Talk on international topics
※平成21年度事業については、協会ホームページにおいて随時案内します。

編 新年あけましておめでとうございます。世界的にリセッション(景気後退)が進んでいるようで、周りからは景気のいい話が聞こえてきません。

集 今号では、第2・3面の「多文化共生を考える」で外国人にも読んでもらいやすいようにふりがなをつけました。第4面の構成を少し変更し、イベントの写真も散りばめたり、「楽しい日常英会話」と「ハンゲル会話」が「ひとこと English」と「豆ハンゲル」として新たにスタートしました。QUIZも紙面を読めば答えが見つかるようになりました。みなさんのご意見をお待ちしております。(Toshiyuki)

後

記

忘れていた大切なこと 優和が思い出させてくれた...
Think Find Study
自分で考え、気づき、勉強する子を育てます

「自分で勉強する子になります」
はじめて入塾していただいた生徒さんは、優和生の熱心さに圧倒されます。しかし、授業を受け、みんなが勉強している姿を見るうちに、だんだんと変わっていきます。いままで気づけなかったことを感じ、自分から考え、勉強するようになっていきます。優和ではその子が本来持っている能力を自分の力で引き出せるように指導しています。入試や定期テストはお子様にとって今まで経験したことのない大きな試練ですが、優和で勉強していく中で成長し、自分の問題に自分の力で向き合うという勇気を持ったとき、その子はもう自分で勉強する子になっています。

「君が変われば世界が変わる」
こう考えていませんか?
・「将来やりたいことなんかない」
・「志望校なんかない」
・「塾に行きたくない」
・「家では勉強しないから怒られる」
・「テストの点数が取れない」
・「成績が上がらないからおもしろくない」

優和の目指す考え方は?
・「自分のためにがんばらなくてはならない」
・「志望校に合格したい」
・「塾に行けば成績を上げたい」
・「塾に行けば勉強ができる」
・「どうすれば点数が取れるんだろう」
・「成績が上がるからおもしろい」

ひとりひとりと向き合った 小さな塾の合格実績です

【国公立大学】1997～2008年

東京大 2名	京都大 5名	大阪大 5名
京都府医大 1名	名古屋大 1名	神戸大 5名
北海道大 1名	広島大 3名	金沢大 2名
京都工芸繊維大 1名	大阪府大 7名	大阪大 2名
大阪外大 2名	大阪教育大 2名	兵庫県立大 2名
兵庫教育大 2名	東京芸大 1名	岡山大 5名
信州大 2名	徳島大 1名	滋賀大 1名
和歌山大 1名	静岡大 1名	首都東京大 1名
鳥取大 2名		など多数合格!

【私立大学】1997～2008年

早稲田大 4名	同志社大 34名	関西学院大 60名
関西大 59名	立命館大 18名	甲南大 59名
近畿大 44名	東京理科大 1名	青山学院大 2名
		など多数合格

【高校入試】1997～2008年

北摂三田高 46名	瀬山鳳鳴高 123名	三田祥雲館高 22名
三田西陵高 67名	有馬高 58名	栢原高 4名
三田学園高 12名	雲雀丘学園高 10名	明星高(文理) 1名
関西学院高 1名		など多数合格

【私立中学】1997～2008年

三田学園中 42名	武庫川女子中 3名	神戸国際中 1名
報徳学園中 6名	京都共栄学園中 2名	六甲中学 1名
松蔭中学 1名	雲雀丘学園中 2名	追手門学院中 1名

優和の総合学習システム

少人数一斉指導コース
スーパーライブ
■小学部本科(小1～小6) 中学受験科(小6)
■中学部本科(中1～中3)

個別指導コース
アシス [assis]
■小1～高卒

中学受験コース
四谷大塚 NET
■小4～小6

東進衛星予備校 三田中央校
三田ウディタウン校

■高1～高卒
通信制高校提携校
勇志国際高等学校
■広域通信制・単位制高等学校

がんばれる場所がここにある

総合学習塾 **優和**
since1986
ホームページ <http://www.ceres.dti.ne.jp/~youwa>
E-Mail youwa@ceres.dti.ne.jp

- ウディタウン校 (079)564-4455
- 三田駅前校 (079)563-1177
- 篠山校 (079)594-3940
- 西脇校 (0795)23-9011
- 東進衛星予備校 三田中央校 563-1177
三田ウディタウン校 564-4455